

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	子ども生活学専攻
	主な担当科目	障がい児保育、障害者福祉、社会的養護内容
	氏 名	福谷 理恵
	フリガナ	フクタニ リエ
	職 位	准教授
	学 位 等	博士(教育学)
	研究内容・社会業績等	
<p>(1)障がい児者の社会参加のためのスキル支援</p> <p>(2)障がいのある子どもと主養育者の生活経営支援 (5)レジリエンスを高めるための心理・教育的アプローチ</p> <p>(3)障がい児者福祉</p> <p>(4)家族関係</p> <p>(5)生活時間研究</p> <p>現在の関心は、レジリエンスを高めるための心理・教育的アプローチです。</p>		
論文・書籍・資格等		
<p>論文(単著)</p> <p>1 自閉症児における「象徴遊び」の機能分析とその指導法(2001)修士論文</p> <p>2 障害のある児童生徒の通常学期中における平日と土曜の生活時間(2007)広島大学大学院教育学研究科紀要第二部文化教育開発関連領域 第55号, pp.389-398</p> <p>3 障害のある児童生徒の主養育者に与える学校休業日の影響に関する研究(2010)博士論文</p> <p>4 障害のある子どもと主養育者の生活時間調査方法に関する検討ー広島県における調査の場合ー(2011)広島大学大学院教育学研究科紀要第二部文化教育開発関連領域 第60号, pp.275-282</p> <p>5 障がい児者と家族への支援(2016)中央競馬馬主福祉財団 海外研修報告書集 第43回, pp.99-113</p> <p>論文(共著)</p> <p>1 長期休業中における障害のある子どもの主養育者の生活時間ー子どもの自立スキルとの関連からー(2008)日本家政学会 日本家政学会誌 第59巻2号, pp.111-120</p> <p>2 障害のある子どもをもつ主養育者の余暇生活(2009)日本地域福祉学会 日本の地域福祉 第22巻, pp.78-81</p> <p>3 障がいのある児童生徒の養育に関する主養育者へのインタビュー(2010)広島大学大学院教育学研究科紀要第二部文化教育開発関連領域 第55号, pp.381-390</p> <p>4 障がいのある学齢期の子どもと主養育者の生活時間の相互関連(2011)日本家政学会生活経営学部会 生活経営学研究 第46巻, pp.25-34</p> <p>5 大学における生活経営学及び関連科目の現状と課題ー「若手の会」による部会員所属大学のシラバス調査(2014)日本家政学会 日本家政学会誌 第59巻2号, pp.111-120</p> <p>6 障害者が地域で暮らせる自立と支援(2014)日本家政学会 家政学原論研究 第48, pp.13-20</p> <p>7 An Analysis of Caring Learning in Japan(2015)城西国際大学大学院紀要 第18号, pp.23-35</p> <p>8 発達障害特性のある幼児の人間関係を促進するための支援に関する文献研究(2023)至誠館大学研究紀要第10巻</p> <p>(資格)</p> <p>中学校教諭1種免許状(社会), 高等学校教諭1種免許状(公民), 特別支援学校教諭専修免許状(知的障害者に関する教育の領域, 肢体不自由者に関する教育の領域, 病弱者(身体虚弱者を含む。))に関する教育の領域)</p> <p>(受賞)</p> <p>日本家政学会中国・四国支部賞表彰(2009)第56回日本家政学会 中国・四国支部研究会</p>		
学生へのメッセージ		
<p>人間は、誰でも転んだり挫折したりします。私もさんざん転んできました。そして、そこから何を学び、どう立ち直り、再出発していくかが人生では一番大切なことだと感じております。この「困難な状況でも立ち直り、力を発揮しようとする力」をレジリエンスと呼びます。社会を構成する様々な人々の「困難な状況から立ち直る力」について、子どもから大人まで、そのメカニズムについて、哲学、心理学、教育学、社会学など幅広く多面的な角度から皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。</p>		